

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2002. 11. 20

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）松本（国府小）津下（国府小）福井（伊島小）

【国府小学区用水の生き物調査】松本

昨年度、中四国農政局が国府小学校と協力して、学区の用水を調べる総合的な学習のプランを作成してくれたそうです。カラープリンターで作られたワークブックには、カネヒラやタナゴなどの淡水魚やカワニナやトビゲラなどの指標生物が写真入りで説明されていたり、航空写真やイラストマップを使って学区の様子が紹介されていたりします。この生き物調査記録用紙を持って用水に出かければ、子ども達が視点を持って観察することができるでしょうし、自分達の手で環境評価もできそうです。どの学校にもこんなワークブックがオーダーメイドできるといいですね。

【ガリガリとんぼ】福井

伝承遊びのガリガリとんぼ（割り箸にギザギザを彫り込み、棒でここをガリガリと擦ることで先端に付けられたプロペラを回す）を100円ショップで買ってきた電動歯ブラシで動かす。同じく100円ショップで買ってきたミニマッサージャーでもよく動きます。

【漂白剤で酸素が取り出せるか】福井

サイエンスフィールドに酸素系漂白剤というものがあったのでこれで酸素がどのくらい取り出せるか実験してみました。ポリ袋はちっともふくらまず、線香を差し込んでも燃えませんでした。泡のすぐ近くに線香を持っていくと、かすかに光が強くなります。どうやれば盛んに酸素が取り出せるのでしょうか？

【予言の黒板】福井

相手の考えた動物と花の名前、それに相手が引いたトランプのマークと数字を予言する手品。この手品を見て、すぐに松本先生は別のバージョンでやってのけ、みんなを驚かせました。ただしトランプの予言だけは分からなかったようで、このトリックには感心していました。手品なのでこれ以上は書けないのが残念！

【水戸黄門岡山弁バージョン】高松

仁美小では学習発表会が盛んで、どの学年も体育館で劇などを発表するそうです。高松先生のクラス（9名）は水戸黄門の劇を岡山弁でやります。関西出身の高松先生は、脚本を作るにあたって『岡山弁コンバータ』というホームページを使ったそうです。インターネットにはほかにも土佐弁などの方言に直してくれるサイトがあるので、国語の方言の学習にいいかも知れません。

【もののかさと力・もののかさと温度】松本

温められたフラスコの栓が飛ぶ理由としての空気上昇説と膨張説を確かめる実験としてペットボトルにたくさん穴をあけてシャボン玉を作らせる。パスカルの原理で同じように膨らむはずなのだが…！？

